

パーソナリティ・アセスメント<初級>

事例から学ぶ心理アセスメント

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会」(ワークショップ)の承認を受けております。 <承認期間:2022年7月2日~2027年7月1日 承認番号:20210392> なお、本講座は2ポイント(予定)となります。

期 日：2022年10月12日(水)・10月15日(土)のどちらかのご希望日

※ご希望日を必ず通信欄にご記入・ご入力ください

受講対象：臨床心理士・公認心理師・スクールカウンセラー・相談員・教師等またはそれらを目指している方、病院・学校・児童相談所・矯正施設・福祉施設等の各現場に関わっている専門家の方、および心理アセスメントに興味のある方で、当該心理検査についての基礎的な知識を有する初心者を対象とします。

申込期限：2022年10月4日(火)

(お申込みは先着順となりますが、期限前に募集を終了する場合がございます)

受講料：7,500円(税込み)

配信方法：『Cisco Webex』を使用し、配信 ※事前承認制です

本講座は事前にビデオ収録し、当日オンラインで配信する講座です

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

<プログラム>

** 企画講師 ** 放送大学 客員教授 小川 俊樹 先生			
	時間	テーマ	講師(敬称略)
各 日	12:50頃~	事前案内	
	13:00~14:50	TAT	明治大学 教授 高瀬 由嗣 先生
	15:00~16:30	バウムテスト	立正大学 准教授 佐藤 秀行 先生
◆◇ 質疑応答 ◇◆ 本講座は、講義終了後、アンケートにて記入いただいた質問の中から、後日、各講師の先生が質問に答えてくださいます。 (回答内容は郵送にて案内予定です)			

※時間割が変更となっております。予めご了承ください。

《 講師紹介 》

★★★ 企画講師 ★★★

小川 俊樹 先生：放送大学 客員教授

★★★ 出講講師 ★★★

高瀬 由嗣 先生：明治大学 文学部 教授

佐藤 秀行 先生：立正大学 心理学部 准教授

※登壇順

臨床現場で心理アセスメントに求められているのは、クライアントが抱えている心理的問題を個別に的確に把握し理解することです。そのためには、面接法や観察法といった方法に加えて、検査法が有益な情報を提供してくれます。その道具としての各種心理検査について本財団では2003年度から『パーソナリティ・アセスメント講座』と題し、心理臨床の現場で用いられている心理検査を取り上げた研修講座を始めました。「入門講座」ではまったくの初心者を対象に各種心理検査の基礎を、そして少人数による「中級講座」では参加者が実施した事例を中心に学習を行っています。今回の初級講座は、検査やその実施についての基本的な知識はあるものの、実際の事例についてはほとんど経験のない方や解釈の実際を学びたいという人たち向けの、いわば入門と中級をつなぐ講座です。講師の先生がご自身で実施した心理検査事例を基に解説してもらい、解釈の実際を学んでいただく研修会です。例年1つの心理検査について研修を行っておりますが、今年はビデオ録画講座という形で2つの講座を開設しました。

1つはTATで、もう1つは広く心理臨床の場で採用されているバウムテストです。TATは日本ではその採用率は低いのですが、ロールシャッハ法と並んで代表的な投影法検査であり、その使用法によっては他の心理検査には見られない特徴を認めることができます。バウムテストは受講生からの要望も強く、今回初級講座にて開くことにしました。この講座を通して、TATやバウムテストの読み方、解釈の仕方を体得していただければと願っています。

なお、今回はコロナウィルス感染防止の観点からビデオ録画講座という形で実施することになりました。そのため講師との質疑応答が行えるよう、質問箱などを開設して受講生のみなさんの質問に答えたいと考えております。

[企画講師 小川俊樹]